



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月4日

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
コード番号 5726 URL <https://www.osaka-ti.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 理事経営企画部長 (氏名) 井田 義和

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,702	39.4	422		958		817	
2022年3月期第1四半期	6,243	5.6	574		551		559	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	22.21	
2022年3月期第1四半期	15.20	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	77,706	27,311	35.1
2022年3月期	76,586	26,509	34.6

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 27,311百万円 2022年3月期 26,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		5.00		10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	62.5	800		1,300		800		21.74
通期	41,000	43.6	1,800		2,400		1,600		43.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)詳細は[添付資料]P.7「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	36,800,000 株	2022年3月期	36,800,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,336 株	2022年3月期	1,336 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	36,798,664 株	2022年3月期1Q	36,798,664 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種普及により感染症拡大防止、経済再開の動きや正常化への兆しがみられるようになりましたが、変異株に因る再拡大から景気回復のペースは緩やかなものとなりました。また、海外経済においても、全体的には景気持ち直しの動きとなりましたが、中国のゼロコロナ政策やロシアによるウクライナ侵攻等の地政学リスクの影響に因る原油などのエネルギー資源や原材料価格の高騰といったサプライチェーンへの影響、米国における政策金利の引き上げによる急激な円安進行など様々な要因があり、先行きが不透明な状況となっております。

当事業におきましては、航空機需要の段階的な回復に加え、スポンジチタンのサプライチェーン再編の動きに因る需要回復の前倒しといった兆候も見られ始めたものの、チタン源や石炭価格を中心とした原燃料コストや海上輸送コストの高止まりも継続しております。こうした中でチタン事業では、航空機用途向けが主体である輸出スポンジチタンの売上が前年同期比43.0%増、一般産業用途向け主体の国内スポンジチタン等の売上が同48.0%増といずれも大幅に改善し、チタン事業の売上高は7,621百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

高機能材料事業では、半導体関連需要の増加によりスパッタリングターゲット用高純度チタンの売上が増加したこと等により、売上高は1,081百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は、8,702百万円（前年同期比39.4%増）となりました。損益につきましては、原燃料コストの上昇といった悪化要因はありましたが、チタン事業における販売数量の増加と販売価格は正や操業改善といった収益改善により、円安効果も併せて営業利益は422百万円（前年同期は574百万円の損失）、経常利益は958百万円（前年同期は551百万円の損失）、四半期純利益は817百万円（前年同期は559百万円の損失）となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第1四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	2,607	1,761	48.0
	輸出	5,013	3,506	43.0
	計	7,621	5,268	44.7
高機能材料事業		1,081	778	38.9
その他		—	196	—
合計		8,702	6,243	39.4

(注) その他欄に記載の売上高は生産を終了したポリシリコン事業に関する残存在庫の売却によるものです。2021年度にて全て販売完了しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は、77,706百万円と前事業年度末と比べ1,119百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が減少したものの、棚卸資産、売掛金及び固定資産が増加したことが主な要因であります。

②負債

当第1四半期会計期間末の負債の残高は、50,394百万円と前事業年度末と比べ317百万円増加いたしました。これは、未払消費税等が減少したものの、買掛金、未払金及び未払法人税等が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は、27,311百万円と前事業年度末と比べ801百万円増加いたしました。これは、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を適正に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手した情報をもとに通期ならびに第2四半期累計期間の業績予想を算定し公表することといたしました。詳細につきましては、本日（2022年8月4日）に公表いたしました「2023年3月期 業績予想の修正及び配当予想の修正並びに営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、公表した予想は、現時点でスポンジチタンの顧客等から入手した情報等に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,666	9,686
売掛金	13,507	14,167
商品及び製品	10,655	9,354
仕掛品	2,091	2,697
原材料及び貯蔵品	4,375	6,402
その他	223	168
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,515	42,472
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,058	9,066
機械及び装置（純額）	8,224	7,884
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	543	993
その他（純額）	441	426
有形固定資産合計	33,091	33,195
無形固定資産	822	918
投資その他の資産	1,157	1,118
固定資産合計	35,071	35,233
資産合計	76,586	77,706

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,727	4,022
短期借入金	9,700	14,700
未払金	141	556
未払法人税等	71	196
未払消費税等	1,279	185
設備関係未払金	920	535
賞与引当金	215	56
その他	250	425
流動負債合計	15,306	20,678
固定負債		
長期借入金	30,800	25,800
資産除去債務	1,490	1,496
退職給付引当金	1,909	1,903
その他	571	516
固定負債合計	34,770	29,716
負債合計	50,077	50,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	8,781	9,598
自己株式	△10	△10
株主資本合計	26,454	27,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55	39
評価・換算差額等合計	55	39
純資産合計	26,509	27,311
負債純資産合計	76,586	77,706

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	6,243	8,702
売上原価	5,800	7,201
売上総利益	442	1,500
販売費及び一般管理費	1,017	1,078
営業利益又は営業損失(△)	△574	422
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	6
為替差益	5	508
不用品売却益	24	73
受取賃貸料	9	9
雇用調整助成金	66	—
その他	5	2
営業外収益合計	114	600
営業外費用		
支払利息	43	55
休止固定資産減価償却費	23	5
割増退職金	24	2
その他	0	1
営業外費用合計	91	64
経常利益又は経常損失(△)	△551	958
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産除却損	7	11
特別損失合計	7	11
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△558	966
法人税等	0	148
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△559	817

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

年間の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(追加情報)

(ウクライナ情勢及び新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度末に行った、ウクライナ情勢及び新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計
	チタン事業	高機能材料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,268	778	6,046	196	6,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,268	778	6,046	196	6,243
セグメント利益又は損失(△)	△695	△10	△705	131	△574

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業損失とに差異は生じておりません。

2 その他欄に記載の売上高及びセグメント利益は、生産を終了したポリシリコン事業に関する残存在庫の売却によるものです。

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	チタン事業	高機能材料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,621	1,081	8,702	—	8,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,621	1,081	8,702	—	8,702
セグメント利益	271	151	422	—	422

(注) セグメント利益の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差異は生じておりません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。